

2018年(平成30年)2月7日(水) 第26回 例会 (通算2778回)

国際ロータリー 第2580地区

(今月のロータリーレート:1ドル110円)

石垣ロータリークラブ週報

No. 2645

会長: 大浜 一郎 副会長: 遠藤 正夫 幹事: 宮城 早人 副幹事: 池城 貞光



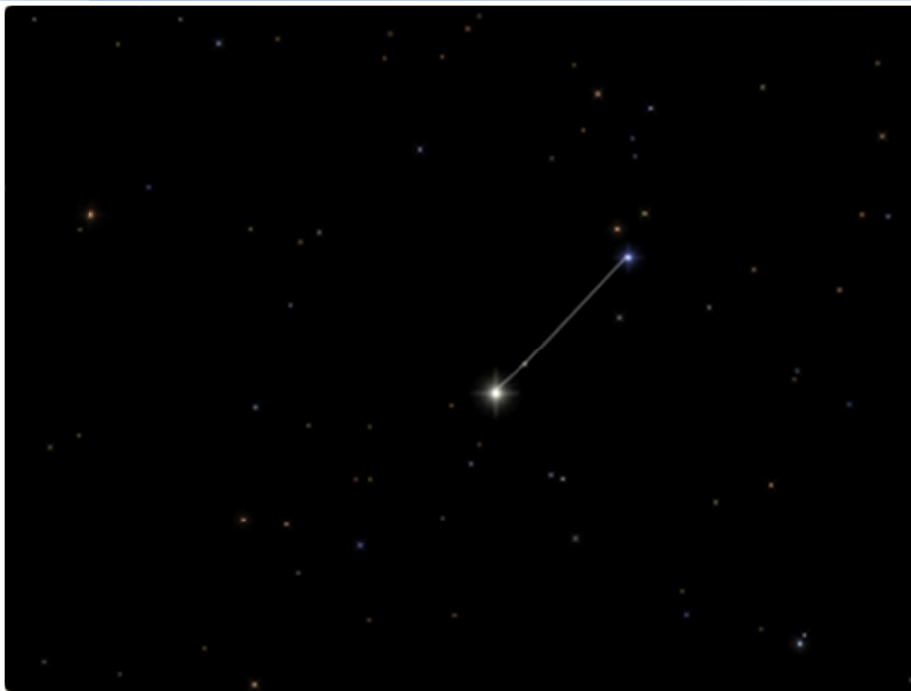
RI 会長:
イアン H. S. ライズリー

ロータリー:
変化をもたらす

地区ガバナー: 吉田 雅俊氏「感動と調和」

●クラブテーマ「絆とおもいやり」

例会日 水曜日 12:30~13:30
例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
TEL/FAX(0980)83-2917
http://ishigaki-rotary.jimdo.com
E-mail ishirotary@ninus.ocn.ne.jp



◎いいぬ座

冬の夜、南の空高く輝いている星座で、 α 星のプロキオンと β 星のゴメイサから描かれている小さな星座ですが、おおいぬ座が夜空に昇って来る前に現れ、一等星のプロキオンがよく目につく星座です。

1月31日(水)第25回(通算2777回)例会報告

<司会進行> 櫻井 浩一

ロータリーソング・「えんどうの花」「四つのテスト」

ソングリーダー・黒島 剛

ゲスト・・・仲本 榮章氏((株)ウィルコム沖縄 経営顧問)

三浦 勝治氏(// コンシューマ営業グループ)

メイクアップ・・・森田 安高・上原晃子・小底 厚子

大濱 達也・小林 昌道

出席報告

会 員 総 数	43名
出席義務会員	42名
出 席 数	30名
欠 席 数	12名
出 席 率	71.43%
通算出席率(1月)	65.87%



本日のにこにこ

- ・合同例会お世話になりました。宮里さん送っていただきありがとうございます。(今西 敦之)
- ・仲本さん本日はありがとうございました。勉強になりました。(大浜 一郎)
- ・卓話ありがとうございました。(大田 次男)
- ・今年の石垣島マラソン完走できなかったのも、やまねこマラソンでリベンジします。(南波 正幸)

BOX ￥4,000 (累計￥140,000)

コイン ￥4,723 (累計￥61,002)

合 計 ￥201,002

会長挨拶：大浜 一郎



皆様こんにちは。去った1月17日は中座させて頂きまして、台北に行って参りました。長年お付き合いのある岡崎南 RC の皆さんと台北で合流しまして、そこで台北城北 RC との友好に向けた初対面と橋渡しができました。先週は宮古島 RC との合同例会に16名の参加がございました。本当にありがとうございました。大瀆達也さんが会長の頃に合同例会をやって、それ以来ということでした。宮古島 RC はなんとか今20名になるめどがあったというお話をされておりました。離島同士、お互い抱えている問題、経済規模とか似通う所があるかと思しますので、ぜひ今後とも交流が継続できればなと思います。

また今年の8月に台北大同 RC の姉妹締結の予定でしたが、手続きの不備等々がありまして、実現できませんでした。台北に行った際に約10名の PP の皆さんと幹事にお集まりいただいて、お話をしました。4月18日に石垣 RC と台北大同 RC の姉妹締結を石垣でする事になりました。4月になると水・土と台北から直行便がありますので、それで来島して姉妹締結をしたいという申し出がありまして、今朝確認を致しましたので、皆様のご協力よろしくお願い致します。

また今日はゲストとして仲本さんがいらっしゃっております。那覇西 RC の会長も歴任しております。今日は IOT のお話でもあるかと思っておりますが、楽しみにしております。IOT は生活に密着して来る技術革新です。ぜひその辺の所をお聞きできればと思います。それから今日はもう1人のゲスト、ペッパー君も参加しております。これからの時代の流れの中での情報通信、そして技術の進展を皆様と一緒に勉強できたかと思っております。最後までよろしくお願い致します。

ゲスト卓話：仲本 榮章氏

(株) ウィルコム沖縄 経営顧問



テーマ「情報通信の近未来について」



今日は情報通信の近未来ということでお話させて頂きまして。最近、情報通信革命と言われております。情報通信革命はどの方向に向かって行くのか。未来を語るためには過去をたどる。過去をたどれば未来がどういうふうに広がっていくのかが分かりやすいと思います。農業革命、産業革命、そして今が情報革命、これが社会全般で言われている根本的な革命になります。農業革命というのはこれまで狩りが中心だったのが、栽培をする、蓄える、家畜を養うとかいう所での新しい農法が確立しました。産業革命は蒸気機関の性能向上で工業力が非常に高まってきたわけです。農業革命で引っ張って来たから、工業力が高まって来た。どういうふうに高まったかということ、都市地区でいろんなビジネスがやれるようになってきた。都市地区でやれるという事は、人がそこに集中する。人が集中する所には技術の革命が起きてきた。それで産業革命です。サラリーマンという言葉が生まれたのもこの辺りです。それから現在は情報革命と言われていた時代です。これがインターネットや携帯電話の普及。私は情報通信の仕事をして47年間やっています。固定電話、インターネット、それからモバイルというふうには、自分自身の人生と重ねると情報革命の部分というのは、今度はこの辺に行くだろうなという、だいたいの予想が付きそうな感じがします。

現状どうなっているか。電気通信市場全体の動向をご説明致します。やはり NTT 抜きにしては語れません。なぜなら固定回線、インターネット回線は全て NTT が押さえています。NTT 東西、NTT ドコモは市場支配的事業所というふうな表現をされています。どういう意味があるかということ、全部回線を押さえているわけですから、独占状態に

なってくるわけです。独占をしてはいけませんよと、規制がかかっているわけです。規制がかかったうえで、NTTがどういう状況かと言うと、光の普及率70%です。さらに設備ベースでは78%、ほとんどNTTが握っていると考えていいと思います。それから競争の体制としては、ネットワークを貸し出すようにという事で、NTTが東と西が分かれた時点で、回線の開放をしているわけです。そこで出てきた競争相手がCATV、それから電力系の事業所、それからKDDI、この3つができたわけです。移動体通信市場はドコモが43.3%を占めています。ところが沖縄では逆転して、沖縄セルラーが伸びています。ドコモは2番手になっていますが、全国的には圧倒的にシェアはドコモが多いです。KDDIが28.9%、ソフトバンクグループが27.8%という割合になっています。ネットワークの貸し出し状況を見ますと、NVMO（回線を借りて仕事をしている）がものすごい数になっています。

電気通信サービスの契約数の推移ですが、固定電話と移動電話は平成12年11月で、移動電話が逆転しています。固定電話と固定系のブロードバンド（インターネットを利用しての光）は平成20年9月で固定系ブロードバンドが逆転しているわけです。固定電話が10%家庭の中に普及するのに75年かかっています。光が同じく10%になるのにわずか5年です。携帯電話はだいたい15年くらいで10%はクリアしています。固定電話に比べて、携帯電話と光はこれだけスピードがあるという事を理解して頂ければいいかと思います。

電気通信分野の競争政策の成果はどこにあるのか。光ファイバーの契約数の割合がOECD加盟国中、1位です。OECDというのは世界30か国、先進国がここに集まっています。世界の総生産の3分の2をこの30か国で占めていることから先進国クラブという言い方をされています。それから単位速度当り（ブロードバンド）の料金がOECD加盟国中、最安値です。モバイル分野では利用可能世帯が100%。（可能の世帯であって、実際の契約数とは違います）それから第3世代携帯の契約比率が100%。分かりやすく言うと、第1世代＝シヨルダーフォン、第2世代＝ガラケーやポケットベル、第3世代＝スマートフォン、現在は第4世代＝第3世代が進化、次に第5世代になります。それからモバイルブロードバンドの契約数が第2

位です。日本ではまだガラケーが多いので、これをスマートフォンに換えて行かないといけない。なぜなら第5世代が控えています。第5世代のスピードと容量は4Gでないと通用しないという仕組みになっています。

先ほどのNVMOの契約者事業者数ですが、右肩上がりになっています。現在210社が通信事業に乗り出してきたわけです。回線をNTT、au、またはソフトバンクから借りて仕事をするわけです。設備投資にはそれなりの多くのお金がかかります。それこそ何兆円と言うお金がかかる。でも一般人、誰でも通信事業ができるというのが、この数字に表れているわけです。

どのくらいのスピードでスマートフォンが伸びているかと言うと、平成22年度末に比べると8.1倍と右肩上がりに伸びています。我々の会社はPHSをずっと扱っていました。PHSは安い、それから音声がとても良いです。今でもそうです。スマートフォンより音声はPHSが良い。でもこれからの時代はスマートフォンです。一時期我々が誰とでも定額というのを沖縄からスタートさせました。私がウィルコム沖縄に来た時は、数字が38,000、直近の数字で150,000まで伸びていました。ところがそれから後、PHSが急激に落ちていきます。今スマートフォンに乗り換えをどんどんしています。スマートフォンもお陰様で、Yモバイルの全国区では沖縄が今トップを走っています。前のPHSからスマートフォンへ乗り換えをしている状況です。

他の携帯電話の会社、どういうふうに関連しているかと言うと、皆他の道を探っています。もう携帯電話は生活のツールだと、電気、水道、ガスと一緒にというふうな位置づけがされています。例えばドコモは東京電力と中部電力6社と提携をしています。電気料を払う時にキャッシュバックをしたり、それから割引をしたり、ポイントをサービスしたり、こういうサービスをしています。KDDI、auも同じようなキャッシュバックをしています。ソフトバンクも同じような料金の値下げをしたりしています。こういうふうに関連してきているという状況です。

ここから未来の情報革命にはいります。さっき5Gのお話をしましたが、IOTは5Gによって急速に発展するだろうと言われています。全世界のIOTの商品が1億余りになっております。いろん

なサイバーテロが発生していますが、そのセキュリティの部分は別にしまして、この IOT の部分はかなりの速度で広がっています。ドローン、自動車、冷蔵庫、医療関係、どんどん広がっています。具体的にはおもちゃベースでもロボットを歩かせたり、それからヘリコプターを飛ばせたり、5G になると、大変なスピードになって、大容量になります。この IOT の部分 2020 年、オリンピックまではもっともっと普及させようという事で、今躍起になって、それぞれの企業がやっています。なんでそれぞれの企業がやっているかという、特許なんです。特許を持つという事。それで 1 つ特許を持つと、この特許を借りなければ仕事ができなくなる。そうすると費用が大きくかかります。ですから皆躍起になってこの IOT の商品の特許を目指しているわけです。

それから AI、これは人工知能。皆さん良くご存じですよ。この間将棋の名人が 2 敗しています。ロボットに搭載した人工知能、ビッグデータと言われる部分で情報を蓄積していきます。それで勝負する。絶対 AI には勝てない。今いろんな意味で、この AI が普及すると人間の仕事なくなるんじゃないか。弁護士からお医者さんまで AI がやってくれるんじゃないか。こういう事がうわさされていますが、AI には感情というものがありません。ですから AI がいかに人間の機能を備えようが、やはり感情の部分までを獲得するのは非常に難しいですが、AI の部分はまだまだ発展していく可能性があるだろうと言われています。AI の定義を調べると 100 種類以上あります。ならば AI というのは非常に多機能であると考えて頂ければと思います。スマートロボット、あえてスマートというのは、現在ただ動くだけではダメだと、やはり対話をする、お互い理解をする、AI を搭載したロボット、鉄腕アトムのようなロボットがほしいということです。

今、AI の世界、ロボットの世界で本気になって考えていることがあります。それぞれの皆さんが本気になってディスカッションしていることがある。どういう事か、悪いロボットが生まれたらどうするかという事です。正しくロボットが機能するためには、どういう論理を、どういう倫理観を植え付けなければいけないか。これを一生懸命模索しているわけです。そこまで進んできています。ものすごいハイスピードで進んでいる近未来の部

分と遅れている倫理観、これをどういうふうに 1 つにしていくかという事が、今後の大きなテーマになってくると思います。

例会風景



ペッパー君も例会に参加。会話できます。



卓話の記念にバンナーを贈呈しました。